

2008年3月17日

●発行●

日本ハンドボールリーグ委員会

委員長・田中 茂

東京都渋谷区神南1-1-1

電話 03-3481-2494



大同に3連覇を呼び込んだベテランGK荻田



湧永は渡辺の健闘もむなしく2位に

## 大同が湧永との死闘を制して3連覇達成!

### ~第32回日本ハンドボールリーグ・男子プレーオフ~

第32回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP』男子プレーオフは3月15、16日駒沢体育館（東京）で行われ、湧永製薬（レギュラーシーズン1位）と大同特殊鋼（同2位）が激突した決勝は第2延長でも決着がつかずに史上初の7mスローコンテストにもつれ込み、この“死闘”を制した大同が3年連続12回目の栄冠に輝いた。

前日の準決勝は湧永がトヨタ車体（同4位）に39-27と快勝したのに対し、大同は延長の末に大崎電気（同3位）を38-36と退けての決勝進出。

大同・武田のシュートで幕を開けたこの大一番。立ち上りは両チームGKの好守もあり、締まりあるスタートとなった。湧永が1回転して打つ東長濱のトリッキーな7mスローでチームを盛り上げると、大同も白の連打、地引のシュートなどで追撃。中盤以降は退場者が相次いだが、ともに気迫あふれる攻防を繰り広げ、点差が離れることなく湧永1点リードで前半を終了した。

後半開始早々、GK高木の好守から富田のポストシュートで同点に追いついた大同に対し、湧永も10分過ぎから古家のスカイプレー や 渡辺のサイドなどで突き放しにかかり、下川の3連取もあって20分24-20と混戦を抜け出したかに見えた。

しかし、ここから大同は白、山城の連打で息を吹き返すと、25分過ぎから湧永の連続退場に乗じて加点、27分地引の同点ゴールで再び試合を振り出しに戻した。このあと両チーム1点ずつ奪いあった残り18秒に湧永はタイムアウトを要請。終了間際に放った湧永・東のシュートはゴールが認められず、26-26

と同点のまま延長戦へと突入した。

延長開始1分、大同・白のカットインが決まって試合が動いた。湧永も東の7mスローで同点に追いついたが、白の勢いが止まらず28-27と大同リードで延長前半が終了。延長後半、大同は湧永・山中の同点ゴールを許したもの、山城のサイドで先行したあと、白が自らのシュートリバウンドをねじ込んで30-28とがぜん優位に立った。だが、湧永も一歩も譲らず、東長濱の7mスローで1点差としたあと、残り2秒からのフリースローでキャプテン古家の劇的なステップシュートが決まり、試合の行方は、またまた白紙に戻された。

そして、試合は第2延長に突入。第1延長の終盤で地引、武田を連続退場で欠いた大同はCP4人のスタートとなったが、GK荻田の好セーブでピンチを切り抜けたばかりか、この日もうひとつ精彩を欠いていた末松がミドルを打ち込んで先行、4分過ぎにもカットインを決めて優勢をキープした。しかし、もつれにもつれた試合はこのままでは終わらない。第2延長後半、湧永は山口、渡辺の連打で逆転に成功して勝利を目前にしたが、大同も執念の粘りを見せ、白、岸川のゴールで34-34の同点に追つき、史上初の7mスローコンテストとなった。

湧永は守護神・坪根にすべてを託し、大同も第2延長で大活躍の荻田がそのままゴールを守った。大同の先攻で始まった運命の7mスロー。大同が白、末松と決めて迎えた湧永の2投目、古家が放ったシュートを荻田がはじき返した大同は、その後も浦田、岸川、地引と全員が7mスローを決め、歴史に残る激闘は大同の3連覇という劇的なフィナーレで幕を閉じた。

## 湧永製薬、大同特殊鋼が決勝に進出

準決勝第1試合の湧永製薬（レギュラーシーズン1位）－トヨタ車体（同4位）は、開始26秒の渡辺のサイドシュートに続き、古家、東長濱の得点で3点を奪った湧永が試合の主導権を握る。車体は門山がチームの1点目を奪うまでに5分半を擁するなど、攻守ともに安定感がなく、チグハグな戦いが続いている走る展開に持ち込めない立ち上がり。その間にも山口、渡辺、福田らで5連取して9分には8-2と着実に加点した湧永は、車体・香川の7mスロー、崎前のサイドシュートで9-4とされても慌てず、固いDFから速攻を繰り出して13分から古家、山口、下川で13-4と再び差を広げる。

序盤で大差をつけられた車体も、崎前や20分過ぎに投入された銘苅のシュートで反撃を試みるが、それでは挽回できないほどミスが多発して波に乗れず、前半は12-19と差を7点にとどめるのがやっと。後半に入っても湧永はペースを崩さず、車体に付け入るスキを与えない。山中のロング、山口のポスト、下川、渡辺のサイドとバランスよく得点を重ねて11分には27-18と安全圏へ。残りの20分間でも少しづつ差を広げ、最終スコアは39-27の大差。湧永は余力を残しての決勝進出となった。

もう1つの準決勝、大同特殊鋼（レギュラーシーズン2位）－大崎電気（同3位）の一戦は、6:0DFでスタートした大崎を大同が攻めたて、末松、富田の得点で5分3-0とリード。その後も山本のサイド、末松のパスカットからの速攻などでリードを広げる大同に対して、大崎はDFだけでなくOFもかみ合はず、初得点は東のポストシュートが決まる6分まで待たなければならなかつた。大同が優位に立つまま試合が進み、15分には山本のサイドシュートで11-5と6点差をつけたところで大崎が動き、太田をトップDFにした3:2:1DFにシフトチェンジ。高い位置から大同OFにプレッシャーをかけることでようやくリズムをつかんだ大崎は、前半のうちに4点差まで縮めて後半へと折り返す。

後半に入り、太田、猪妻の速攻などで7分には19-21と2点差に詰め寄り、一進一退の展開へと持ち込んだ大崎。そして24分に猪妻のゴールで27-27と追いつくと、残り時間で4点ずつ取り合い、両チーム譲らず延長戦へ。

延長に入ると、末松、白元皓の連続得点で大同が先行、前半35-33とし、後半も1分に末松が決めて3点差。しかし大崎はあきらめず、中川、岩本が連取、さらにGK濱口が末松の7mスローを阻んで望みをつなぎ、猪妻がサイドから決めて同点とする粘りを見せる。どちらに転んでもおかしくない試合を制したのは3連覇がかかる大同。大黒柱の白が大崎DFを巧みにかわして末松、武田へとつながる勝ち越し点を演出すると、最後は自ら決めて熱戦にピリオドを打った。



④大崎電気・猪妻⑤トヨタ車体・崎前

◆ 3月15日(土) 男子準決勝 東京・駒沢体育館			◆ 3月15日(日) 男子準決勝 東京・駒沢体育館			◆ 3月16日(日) 男子決勝 東京・駒沢体育館		
湧永製薬 リーグ1位	39 ( 19-12 20-15 ) 27	トヨタ車体 リーグ4位	大同特殊鋼 リーグ2位	38 ( 14-18 4-2 3-3 ) 36	大崎電気 リーグ3位	大同特殊鋼 リーグ2位	39 ( 12-11 4-4 5 7 m T C 3 ) 37	湧永製薬 リーグ1位
<1/2> K 志 水	木 下 K <1/1>		<1/3> K 荻 田	浦 和 K <1/3>		<1/8> K 荻 田	志 水 K <0/1>	
7/ 8 下 川	高 智 0/ 3 1/1		2/4 8/13 末 松	豊 田 4/ 7 2/3		2/3 4/16 末 松	下 川 5/ 6	
0/ 0 濱 本	野 村 1/ 6		0/ 0 浦 田	前 田 1/ 3		1/1 0/ 0 浦 田	濱 本 0/ 0	
7/10 山 中	藤 田 1/ 1		6/ 9 富 田	中 川 6/10		1/ 2 富 田	山 中 2/ 6 1/1	
3/ 5 福 田	近 藤 0/ 0		3/ 6 地 引	佐 藤 0/ 0		1/1 3/ 8 地 引	福 田 0/ 6	
1/1 1/ 2 東 北	出 2/ 5		6/ 8 武 田	永 島 0/ 0		5/12 武 田	東 3/10 5/5	
<0/1> K 坪 根	小 沢 3/ 5		4/ 4 岸 川	岩 本 1/ 6		1/1 1/ 4 岸 川	坪 根 K <1/10>	
3/ 4 新 長 谷 川	1/ 2		K 高 木	太 田 4/ 4		<0/4> K 高 木	新 1/ 1	
1/ 2 武 藤 鶴 谷	2/ 4		0/ 1 李 才 佑	濱 口 K <1/3>		1/ 6 李 才 佑	武 藤 1/ 2	
<0/1> K 松 村 谷 井	K <0/2>		0/ 0 千々 波	岩 永 0/ 1		0/ 0 千々 波	松 村 K	
4/ 6 古 家 香 川	0/ 1 2/2		0/ 0 山 城	東 俊 介 4/ 6		4/ 5 山 城	古 家 10/19 0/1	
5/ 8 渡 辺 崎 前	7/10		4/ 5 山 本	内 田 0/ 0		1/ 3 山 本	渡 辺 3/ 8 1/1	
5/ 6 山 口 銘 苺	5/ 9 0/1		2/2 3/10 白 元 皓	猪 妻 10/11		5/5 9/22 白 元 皓	山 口 1/ 6	
1/2 1/ 7 東 長 濱 門 山	2/11		0/ 0 渡 久 川	宮 崎 4/ 8		0/ 0 渡 久 川	東 長 濱 0/ 2 4/4	
2/3 37/58	4(FPP)5	24/57 3/4	4/6 34/56	7(FPP)24	34/56 2/3	10/11 29/78	30(FPP)22	26/66 11/12
審判 (池淵・檜崎)	観客 2056人		審判 (浜田・小笠原)	観客 2918人		審判 (仲田・植村)	観客 2729人	

## 第32回日本ハンドボールリーグ個人表彰

### <男子>

・最優秀監督賞	清水 博之	(大同特殊鋼)	初
・最高殊勲選手賞	白 元皓	(大同特殊鋼)	2回目
・殊勲選手賞	坪根 敏宏	(湧永製薬)	2回目
・得点王	末松 誠	(大同特殊鋼)	127点 初
・フィールド得点賞	末松 誠	(大同特殊鋼)	113点 初
・シュート率賞	阪 昭博	(トヨタ紡織九州)	0.798 初
・7mスロー得点賞	香川 将之	(トヨタ車体)	40点 初
・7mスロー阻止率賞	木下 国大	(トヨタ車体)	0.400(8/20) 初
・最優秀選手賞	末松 誠	(大同特殊鋼)	初
・最優秀新人賞	山口 恭裕	(トヨタ自動車)	
・ベストセブン	G K 坪根 敏宏	(湧永製薬)	7回目
	C P 豊田 賢治	(大崎電気)	3回目
	〃 末松 誠	(大同特殊鋼)	初
	〃 山口 修	(湧永製薬)	7回目
	〃 白 元皓	(大同特殊鋼)	5回目
	〃 李 才佑	(大同特殊鋼)	2回目
	〃 宮崎 大輔	(大崎電気)	4回目
・ベストディフェンダー賞	富田 恭介	大同特殊鋼)	2回目
・フェアプレー賞	湧永製薬	122点／16試合 (7.6点／試合)	

### <女子>

・最優秀監督賞	黄 慶泳	(オムロン)	3回目
・最高殊勲選手賞	藤井 紫緒	(オムロン)	初
・殊勲選手賞	郭 惠靜	(ソニーセミコンダクタ九州)	初
・得点王	郭 惠靜	(ソニーセミコンダクタ九州)	145点 4回目
・フィールド得点賞	郭 惠靜	(ソニーセミコンダクタ九州)	118点 5回目
・シュート率賞	横嶋かおる	(北国銀行)	0.727 初
・7mスロー得点賞	吉田 样子	(オムロン)	57点 3回目
・7mスロー阻止率賞	飛田季実子	(ソニーセミコンダクタ九州)	0.433(13/30) 2回目
・最優秀選手賞	郭 惠靜	(ソニーセミコンダクタ九州)	初
・最優秀新人賞	植垣 曜恵	(広島メイプルレッズ)	
・ベストセブン	G K 飛田季実子	(ソニーセミコンダクタ九州)	2回目
・ベストディフェンダー賞	C P 洪 廷昊	(オムロン)	初
・フェアプレー賞	〃 佐久川ひとみ	(オムロン)	7回目
	〃 横嶋かおる	(北国銀行)	初
	〃 上町 史織	(北国銀行)	初
	〃 郭 惠靜	(ソニーセミコンダクタ九州)	4回目
	〃 田中美音子	(ソニーセミコンダクタ九州)	11回目
	巻 加理奈	(オムロン)	初
	H C 名古屋	118点／15試合 (7.9点／試合)	

### <得点達成記録>

#### ・男子

・600点達成	白 元皓	(大同特殊鋼)	2007年10月22日
・500点達成	山口 修	(湧永製薬)	2008年3月1日
・400点達成	小沢 勝利	(トヨタ車体)	2007年10月21日
	下川 真良	(湧永製薬)	2008年1月19日
	谷口 了	(Honda)	2007年11月3日
	豊田 賢治	(大崎電気)	2007年12月8日
	東 慶一	(湧永製薬)	2008年1月12日
	宮崎 大輔	(大崎電気)	2008年1月20日
	末松 誠	(大同特殊鋼)	2008年3月2日

#### ・女子

・600点達成	郭 惠靜	(ソニーセミコンダクタ九州)	2008年1月27日
・500点達成	郭 惠靜	(ソニーセミコンダクタ九州)	2007年10月27日
・400点達成	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	2007年11月18日
	金 鎮順	(広島メイプルレッズ)	2008年1月26日
	洪 廷昊	(オムロン)	2007年9月24日
	大前 典子	(広島メイプルレッズ)	2008年2月2日
	上町 史織	(北国銀行)	2008年2月3日
	水野 恵子	(オムロン)	2007年10月27日
	上町 史織	(北国銀行)	2007年10月28日
	坂元 智子	(オムロン)	2007年11月10日
	吉田 样子	(オムロン)	2008年1月26日

### <7MT阻止数>

・男子	濱口 靖	(大崎電気)	2007年10月28日
・50本達成			
・女子	飛田季実子	(ソニーセミコンダクタ九州)	2007年11月3日
・100本達成			

### <審判表彰>

・最優秀レフェリー賞	家永昌樹 (大阪府)	・福島亮一 (長崎県)
・最優秀新人レフェリー賞	該当なし	



MVPに輝いた大同・白元皓

### 〈プレーオフ・TV情報〉

今回のプレーオフは全試合がC S放送の「J SPORTS」で再放映されます。有料放送ですが、e2 by スカパー！では16日間の「無料体験サービス」を利用することもできます。詳しい情報は  
<http://www.jsports.co.jp/tv/hand/>まで。

再放送予定＆カード	チャンネル
3月18日(火) 10:00~11:30 女子決勝 オムロン×ソニー	J sports ESPN
3月19日(水) 10:00~11:30 男子準決勝 湧永×車体	J sports ESPN
3月19日(水) 14:30~16:00 男子準決勝 湧永×車体	J sports 2
3月19日(水) 16:00~17:30 男子準決勝 大同×大崎	J sports 3
3月20日(木) 10:00~11:30 男子準決勝 大同×大崎	J sports ESPN
3月20日(木) 15:00~16:30 男子準決勝 湧永×車体	J sports 1
3月20日(木) 16:30~18:00 男子準決勝 大同×大崎	J sports 1
3月21日(金) 10:00~11:30 男子決勝 湧永×大同	J sports ESPN
3月21日(金) 15:00~16:30 男子決勝 湧永×大同	J sports 1
3月21日(金) 16:30~18:00 男子決勝 湧永×大同	J sports 2
4月07日(月) 15:00~16:30 女子準決勝 ソニー×北国	J sports ESPN
4月07日(月) 16:30~18:00 女子決勝 オムロン×ソニー	J sports ESPN
4月08日(火) 15:00~16:30 男子準決勝 湧永×車体	J sports ESPN
4月12日(土) 19:00~20:30 男子準決勝 大同×大崎	J sports ESPN
4月13日(日) 18:00~19:30 男子決勝 湧永×大同	J sports ESPN

第32回日本ハンドボールリーグ成績表

レギュラーシーズン日程終了 3月8日

順位	男子	湧永製薬	大同特殊鋼	大崎電気	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	トヨタ自動車	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	湧永製薬		31 29 △ ○ 31 25	27 34 ● ○ 39 33	31 39 ○ ○ 28 35	29 35 △ ○ 29 29	32 33 ○ ○ 23 27	29 40 ○ ○ 9 22	45 40 ○ ○ 16 22	38 35 ○ ○ 21 21	16	13	2	1	28	547	410	137
2	大同特殊鋼	31 25 △ ● 31 29		29 34 ● ○ 33 32	41 35 ○ ○ 31 33	32 37 ○ ○ 31 33	32 29 ○ ○ 25 26	36 33 ○ ○ 27 17	39 41 ○ ○ 21 19	46 35 ○ ○ 25 30	16	13	1	2	27	555	443	112
3	大崎電気	39 33 ○ ● 27 34	33 32 ○ ○ 29 34		40 35 ○ ○ 34 32	39 36 ○ ○ 27 32	31 27 ○ ○ 23 31	36 38 ○ ○ 28 23	43 42 ○ ○ 21 28	38 46 ○ ○ 24 25	16	13	0	3	26	588	452	136
4	トヨタ車体	28 35 ● ● 31 39	31 33 ● ● 41 35	34 32 ● ● 40 35		31 36 ○ ○ 25 31	25 28 △ ○ 25 27	35 37 ● ○ 36 19	37 35 ○ ○ 17 24	34 43 ○ ○ 27 23	16	8	1	7	17	534	475	59
5	トヨタ紡織九州	29 29 △ ● 29 35	31 33 ● ● 32 37	27 32 ● ● 39 36	25 31 ● ● 31 36		32 36 ○ ○ 25 34	35 25 ○ △ 23 25	43 39 ○ ○ 22 29	39 28 ○ ○ 32 20	16	7	2	7	16	514	485	29
6	Honda	23 27 ● ● 32 33	25 26 ● ● 32 29	23 31 ● ○ 31 27	25 27 △ ● 25 28	25 34 ● ● 32 36		28 28 ○ ○ 21 21	32 32 ○ ○ 24 27	35 38 ○ ○ 24 29	16	7	1	8	15	459	451	8
7	北陸電力	9 22 ● ● 29 40	27 17 ● ● 36 33	28 23 ● ● 36 38	36 19 ○ ● 35 37	23 25 ● △ 35 25	21 21 ● ● 28 28		33 26 ○ ○ 14 25	29 28 ○ ○ 27 23	16	5	1	10	11	387	489	-102
8	トヨタ自動車	16 22 ● ● 45 40	21 19 ● ● 39 41	21 28 ● ● 43 42	17 24 ● ● 37 35	22 29 ● ● 43 39	24 27 ● ● 32 32	14 25 ● ● 33 26		29 29 ○ ● 21 30	16	1	0	15	2	367	578	-211
9	豊田合成	21 21 ● ● 38 35	25 30 ● ● 46 35	24 25 ● ● 38 46	27 23 ● ● 34 43	32 20 ● ● 39 28	24 29 ● ● 35 38	27 23 ● ● 29 28	21 30 ● ○ 29 29		16	1	0	15	2	402	570	-168

※上位4チームはプレーオフで順位を決定する。

8位-9位は対戦間得失点差による。

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北国銀行	広島メイプルレッズ	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		25 29 33 ○ ● ○ 24 37 29	35 20 24 ○ ● ○ 27 29 19	36 29 26 ○ ○ ○ 34 25 24	31 27 34 ○ ○ ○ 15 13 18	31 29 26 ○ ○ ○ 12 20 19	15	13	0	2	26	435	345	90
2	ソニーセミコンダクタ九州	24 37 29 ● ○ ● 25 29 33		22 27 36 ○ ○ ○ 21 26 35	29 27 35 ● ○ ○ 32 25 24	28 33 39 ○ ○ ○ 25 23 24	46 35 34 ○ ○ ○ 18 14 16	15	12	0	3	24	481	370	111
3	北国銀行	27 29 19 ● ○ ● 35 20 24	21 26 35 ● ● ● 22 27 36		27 27 40 ○ ○ ○ 26 22 20	31 30 24 ○ ○ ○ 23 15 17	34 32 31 ○ ○ ○ 18 12 19	15	10	0	5	20	433	336	97
4	広島メイプルレッズ	34 25 24 ● ● ● 36 29 26	32 25 24 ○ ● ● 29 27 35	26 22 20 ● ● ● 27 27 40		24 33 31 △ ○ ○ 24 30 14	33 29 29 ○ ○ ○ 15 26 19	15	6	1	8	13	411	404	7
5	三重バイオレットアイリス	15 13 18 ● ● ● 31 27 34	25 23 24 ● ● ● 28 33 39	23 15 17 ● ● ● 31 30 24	24 30 14 △ ● ● 24 33 31		27 25 20 ○ ○ ○ 20 16 16	15	3	1	11	7	313	417	-104
6	HC名古屋	12 20 19 ● ● ● 31 29 26	18 14 16 ● ● ● 46 35 34	18 12 19 ● ● ● 34 32 31	15 26 19 ● ● ● 33 29 29	20 16 16 ● ● ● 27 25 20		15	0	0	15	0	260	461	-201

※上位3チームはプレーオフで順位を決定する。